

機械器具 7 内臓機能代用器

高度管理医療機器 腹膜灌流用回路及び関連用具セット 70592000

JMS 腹膜灌流セット

再使用禁止

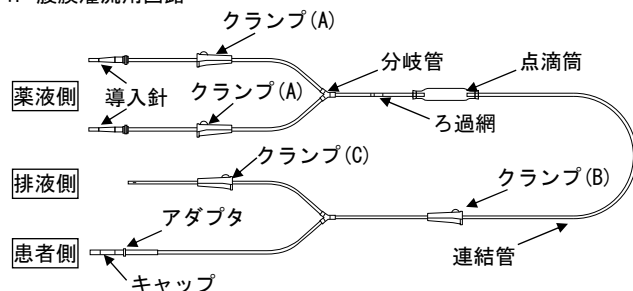
【禁忌・禁止】 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

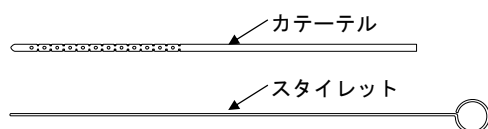
腹膜灌流用回路、腹膜灌流カテーテル及び排液用袋からなる。

〈構成(代表例)〉

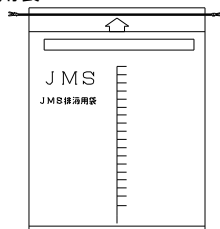
1. 腹膜灌流用回路



2. 腹膜灌流カテーテル



3. 排液用袋



・本品はポリ塩化ビニル(可塑剤：フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。

・本品は以下の原材料を使用している。

構成部品	原材料
導入針	アクリロニトリルブタジエンスチレン共重合体
連結管	ポリ塩化ビニル
点滴筒	ポリ塩化ビニル
ろ過網	ポリエチレンテレフタレート
アダプタ	ポリカーボネート、ポリプロピレン
分岐管	ポリ塩化ビニル
カテーテル	シリコーンゴム

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	20kPa
引張強度	10N

【使用目的又は効果】

腹膜灌流法に用い、腹膜灌流液の腹腔内への注入及び腹腔内からの排出を行う。

【使用方法等】

1. カテーテルを適当な形状に曲げ、腹腔内へ挿入します。
2. 小骨盤腔内に到着後、スタイレットを抜去します。
3. カテーテルを固定します。
4. 腹膜灌流用回路の接続部のキャップを外し、カテーテルと接続します。
5. 腹膜灌流用回路のクランプをすべて閉じ、薬液バッグのゴム栓に導入針を垂直に刺通します。
6. 薬液側のクランプ(A)、(B)を開き、落差圧により、薬液を腹腔に注入します。
7. 注液終了後、開放したクランプを閉じます。
8. 一定時間経過後、排液側のクランプ(C)を開き、排液用袋やその他の容器に腹腔内液を排出します。
9. 5.～8.の操作を繰り返します。

*【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- *1. 使用中は接続部に緩み、外れ、液漏れ等がないことを定期的に確認すること。
2. アルコールや有機溶剤等を使用する場合は注意すること。[アダプタ等にひび割れが生じるおそれがある。]
- *3. チューブを鉗子等で傷つけないよう注意すること。[鉗子の根元又は先端で閉塞すると、チューブが破損し、液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

緩み、外れ、液漏れ

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]

包装の使用期限欄を参照すること。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 0120-923-107